

高温耐摩耗性/加熱硬化



ChemLine® 2400/31 は、耐摩耗性の加温硬化タイプの重防食性ライニングシステムです。ChemLine® 2400/32 膜は強靱・柔軟で、204℃までの石炭、鉄鉱石、プラスチックペレット、スラリー等を取扱う耐食被覆に適します。

ChemLine® 2400/31 には、優れた耐薬品・耐食性があり、取扱い物に付随する腐食性化学品に侵されません。

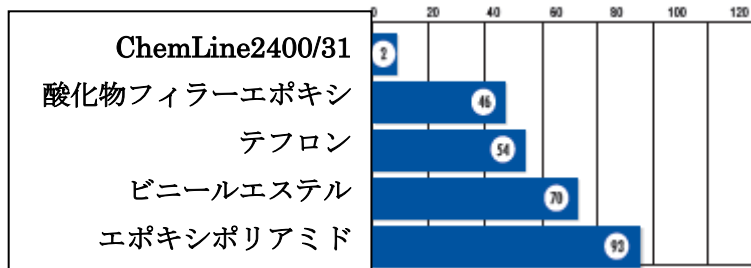
耐薬品性

98%濃度までの硫酸、ほとんどの溶剤（含む塩化メチレン、MEK、メタノール、ガソール）、純水、無機酸、希釈無機酸、アルカリ。腐食性蒸気雰囲気。

● 適用産業分野

- ◇ スラリー配管、石炭シューター、ホッパーカー等
- ◇ ダクト、ポンプ、バグハウス
- ◇ プラットホーム橋脚
- ◇ イオン交換容器

● 耐摩耗性 (Tabor 磨耗試験、ASTM D4060 W-17 WHEEL)



● 製品のハイライト

- ◇ 孔食、腐食した鋼板面に適用可能 - 表面を選ばない
- ◇ 卓越した耐摩耗性
- ◇ 強制加熱硬化システム
- ◇ 低溶剤、VOC 99 g/L
- ◇ 高密着性
- ◇ 膜に柔軟性があり振動、よじれに強い
- ◇ 補修員が簡単に補修できる
- ◇ スチーム洗滌が可能

- ◇ FDA 21 CFR 175.300 登録
- ◇ 高圧水洗に耐える
- ◇ 耐熱温度 260℃（ドライ）

優れた耐食・耐薬品性・耐エロージョン特性

耐薬品性の詳細については、APC のサイトをご参照ください。

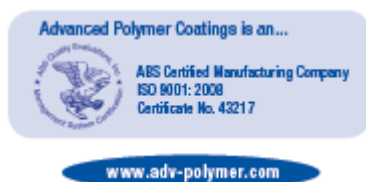
薬品	ChemLine 2400/	ビニール エポキシ テル	厚膜エ ポキシ	ゴム	フェノリック ハイバー	薬品2	ChemLin e2400 12	ビニール エポキシ テル	厚膜エポ キシ	ゴム	フェノリック ハイバー
氷酢酸	A	N	N	L	L	ケロシン	A	A	A	L	A
アセトン	A	N	N	N	A	ラテックス	A	L	L	N	A
塩化アンモニウム	A	A	A	A	L	メタノール	A	L	N	N	A
アンモニア水	A	A	A	A	L	メチレンクロライド	A	N	N	N	A
ベンゼン	A	A	N	N	A	MEK	A	L	N	N	A
黒液(バルブ)	A	A	A	A	L	MIBK	A	L	N	N	A
臭素水	A	N	N	N	L	熔融硫黄	A	N	N	N	L
四塩化炭素	A	A	N	N	A	クロロ酢酸	A	N	N	N	N
塩素水	A	A	N	A	N	ニッケルメッキ液	A	A	A	-	A
塩化ベンゼン	A	A	A	N	N	リン酸、85%	A	N	N	L	L
クロム酸、50%	A	N	N	A	L	食塩	A	A	A	A	A
ジクロロベンゼン	A	N	N	-	N	重クロム酸ソーダ	A	L	N	A	N
ジメチルホルムアミド	A	N	N	N	A	苛性ソーダ	A	N	L	A	N
エタノール	A	A	A	L	A	次亜塩素酸ソーダ、17%	A	A	N	N	N
ホルムアルデヒド	A	A	A	N	A	亜硫酸液(バルブ)	A	A	A	A	A
フルフルールアルコール	A	L	N	N	A	硫酸、0-98%	A	N	N	A	A
ガンリン	A	A	A	N	A	タロー	A	N	N	N	A
油圧油	A	A	L	L	A	トルエン	A	A	A	N	A
塩酸、0~37%	A	A	A	A	L	トリクロロエチレン	A	N	N	N	-
フッ酸、52%	A	N	N	-	N	白液(バルブ)	A	A	A	L	A
ジェット燃料油	A	A	A	L	A						

A: 常温で使用可能、L: 使用制限あり、N: 使用不可、- 情報なし

本文に開示した情報は、APC が第三者の特許侵害を許諾するものでもまたは、APC あるいは第三者の特許の使用を許諾するものでない。APC は、本材使用により生じるいかなる侵害に対し責任を負わない。APC は、本材が同仕様に順じていることを保証する。APC はそのほかのすべての製品に係わる開示事項あるいは施工等に関して責任を負わない。但し、個別の目的に関する商品特性、適合性についてはその限りではない。APC から製品を受領したことは保証条件を許諾したものと看做すが、購買条件に関しては、その限りではない。APC が発送された商品に不適合品を見つけた場合、APC のみはその商品の代替品を発送するか代金を弁済するかを決めることができる。これにともなう副次的な損害については、法的に責任を強制されるもの以外訴追されない。APC は代替品を、妥当と考え合意した期間内に届ける、但し想定外の理由により遅延した場合はその責を追わない。

本レポート中の特性値は、製品の代表値であり、それを保証するものではありません。

本製品は、以下の出願中あるいは特許に基づいています。 USP 5,169,912, 5,658,996, 5,874,501



国内連絡先：合同会社 MarineLINE Japan

〒420-0834 静岡市葵区音羽町 15-15-302

代表社員 川村憲明

電話&Fax：054-251-8444 携帯電話：090-1047-9572

e-mail: noriaki.kawamura@gmail.com